

介護の基本

問題 64 日本介護福祉士会倫理綱領に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉士は、介護福祉国家資格を取得すれば専門的知識・技術の研鑽に励む必要はない。
- 2 暮らしを支える視点から利用者の表面的なニーズを汲み取り、代弁する。
- 3 地域に生じた介護問題を解決していくために、地域住民は介護福祉士の意見のみ聞く。
- 4 介護福祉士は、プライバシーを保護するため、職務上知り得た個人情報を守る必要がある。
- 5 介護福祉士は、利用者に最適なサービスを総合的に提供していくために医療とのみ連携する。

問題 65 「身体拘束ゼロのへの手引き（2024年厚生労働省）」の身体拘束の内容に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢を紐などで縛る。
- 2 立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する。
- 3 行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用する。
- 4 やむを得ず身体拘束をした場合は、そのたびに保険者に報告する。
- 5 自分の意思であけることができない居室などに隔離しない。

問題 66 社会福祉士及び介護福祉士法の規定に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って、誠実に業務を行わなければならない。
- 2 介護職員を退職した後であれば、そこで知り得た情報は開示してもいいことになっている。
- 3 利用者を支える時に介護福祉士の専門的知識のみをもってサービスを提供する。
- 4 介護福祉士資格を取得すれば、その知識や技術などは不変的なものになると考えてよい。
- 5 介護職員初任者研修課程を修了しているため、介護福祉士の名称を使用していい決まりになっている。

問題 67 厚生労働省の報告書「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて」の「求められる介護福祉士像」に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 本人や家族、チームに対するコミュニケーションについては特に触れていない。
- 2 介護福祉士には、高い倫理性の保持が求められる。
- 3 利用者を支えるために介護福祉士のみでチームをつくり、ケアを実践する。
- 4 利用者の自立を支えるケアのみ実践するとよい。
- 5 利用者の身体的支援が重視され、心理的・社会的支援の展開は求められていない。

問題 68 ICF（国際生活機能分類）に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 年齢、性別、職業は「環境因子」にあたる。
- 2 住居、福祉用具、人間関係などは「参加」にあたる。
- 3 歩行、食事などは「活動」にあたる。
- 4 病気や怪我、ストレス状態は「心身機能・身体構造」にあたる。
- 5 身体の解剖学的な部分は「健康状態」にあたる。

問題 69 介護サービス提供の場に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 養護老人ホームの入所条件は、原則として60歳以上である。
- 2 特別養護老人ホームの入所条件は、原則として65歳以上である。
- 3 軽費老人ホームの入所条件は、原則として65歳以上である。
- 4 老人デイサービスセンターの利用条件は、原則として60歳以上である。
- 5 老人福祉センターの利用条件は、原則として65歳以上である。

問題 70 介護保険施設における専門職の役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手芸・工作などの作業を通じた応用的動作能力の回復訓練は、理学療法士が行う。
- 2 運動療法や電気刺激など、物理的手段による基本的動作能力の回復訓練は、作業療法士が行う。
- 3 発声や聴覚、嚥下機能の障害に対する検査や訓練は、視能訓練士が行う。
- 4 視機能の検査や回復のための矯正訓練は、言語聴覚士が行う。
- 5 療養上の世話や診療補助は、看護師が行う。

問題 71 薬の代謝のしくみに関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血流量や消化吸収機能の低下により、薬物吸収が促進される。
- 2 全身の水分量が低下するため、水溶性薬物は薬物の血中の濃度が低下する。
- 3 体脂肪量が増加するため、脂溶性薬物は消化されやすくなる。
- 4 肝機能の低下により、代謝が低下し、薬物の血中濃度が低下する。
- 5 嚥下機能が低下している場合、食道潰瘍を生じることがある。

問題 72 『2022（令和4）年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく

対応状況等に関する調査結果』に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 虐待の発生要因は、「教育・知識・介護技術等に関する問題」が480件と1番多い。
- 2 虐待の事実が認められた施設・事業所の種別は、有料老人ホームが221件と1番多い。
- 3 虐待の内容は、「心理的虐待」が464人と1番多い。
- 4 被虐待高齢者の状況は、「女性」の方が多く、年齢は「90～94」歳が1番多い。
- 5 要介護施設従事者等による虐待に関して、相談および通報者3166人のうち、「当該施設管理者等」が504人（15.9%）と1番多い。

問題 73 感染症の種類と感染経路に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 感染源からの病原体を含む飛沫の水分が蒸発し、飛沫核となり広く空気中を漂うことによって感染することを飛沫感染という。
- 2 直接接触することによって感染すること経口感染という。
- 3 感染源の咳やくしゃみなどの飛沫に含まれる病原体が体内に入ることによって感染することを空気感染という。
- 4 病原体に汚染された食品や水を口にすることで感染することを接触感染という。
- 5 輸血や傷口などを通じて汚染された血液などが体内に入ることによって感染することを血液感染という。

コミュニケーション技術

問題 74 面接におけるコミュニケーション技法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の言葉を言い換えて利用者に返すことで本人の気づきを促す技法を「焦点化」という。
- 2 利用者の感情を読み取り言語化して返す技法を「感情の反射」という。
- 3 利用者が伝えようとしていることを質問により確かめる技法を「焦点化」という。
- 4 利用者が話す内容をまとめて、ポイントを絞ったうえで質問を投げかける技法を「直面化」という。
- 5 利用者の矛盾点を指摘したり、質問したりする技法を「要約」という。

問題 75 イーガンが提唱した「SOLER」に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 耳を傾けたり話を聴きながら頷いたりするなど、開いた姿勢を心がけることが大切である。
- 2 相手に対して必ず正面を向き合い、「話してもよい」と思える雰囲気を作ることが大切である。
- 3 相手に対して適度に体を反りながら話を聴くことが大切である。
- 4 相手のことを凝視し、視線を外さないことが大切である。
- 5 相手の話を真剣に聞こうという意識を強くもち、さあ聞くぞという強い態度を示すことが大切である。

問題 76 バイステックの7原則に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の意見を援助者の価値観で判断する。
- 2 利用者の意見が援助者と違っていた場合は批判する。
- 3 利用者の個別性を理解し、援助者の考えで援助する。
- 4 利用者の感情や言動をありのままに受け入れる。
- 5 援助者の感情を大切にしながら利用者に意図的な援助を行う。

問題 77 重度の認知症がある利用者とのコミュニケーションに関する記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 言語を中心としたコミュニケーションを実践する。
- 2 からだに触れないようにする。
- 3 会話を控えるようにする。
- 4 感情の理解につとめながら関わる。
- 5 多くの人が話しかけるようにする。

問題 78 記録の方法と留意点に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日々の記録は、介護を実践してから後日まとめて書く。
- 2 記録はすぐに書き換えられるよう、シャープペンシルを使用する。
- 3 訂正を行う時は、修正液を使う。
- 4 主観的に記録する。
- 5 記録者は必ず署名する。

問題 79 記録の文体に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 説明体を整理し、短文化したものを逐語体という。
- 2 利用者との会話をその言葉通りに記したものを説明体という。
- 3 ある事象や状況について解釈を付け加えて詳細に説明するものを叙述体という。
- 4 主要なポイントや事実だけを抽出し、余分な情報を省略するものを要約体という。
- 5 逐語記録の多くは叙述体を使う。

生活支援技術

問題 80 生活支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生活は、睡眠、食事、排泄の3つの要素で構成される。
- 2 生活空間とは、リビングと寝室のことである。
- 3 生活支援には、地域住民やボランティア等の協力は含まれない。
- 4 利用者が1人で生活できることを目的として行う。
- 5 要介護状態の人も介護予防を利用できる。

問題 81 下の図の切り方を見て、適切なものを1つ選びなさい。



教科書「生活支援技術」より

- 1 ななめ切り
- 2 そぎ切り
- 3 たんざく切り
- 4 乱切り
- 5 小口切り

問題 82 下図のような表示がついたブラウスの取り扱いとして、適切なものを1つ選びなさい。



教科書「生活支援技術」より

- 1 液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
- 2 酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止。
- 3 低い温度であればタンブル乾燥ができる。（排気温度上限60℃）
- 4 ぬれつき干しがよい。
- 5 底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げができる。

問題 83 利用者への掃除やごみ捨ての支援に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 近年、気密性が高い住宅構造や暖房、加湿器が普及したことにより、アレルギー性疾患が減少している。
- 2 掃除機は部屋の入り口から奥に向かってかける。
- 3 2000年に公布された「循環型社会形成推進基本法」は、廃棄物対策とリサイクル対策を推進する法律で、ごみ処理の優先順位を示している。
- 4 ごみの分別方法は都道府県ごとに統一されている。
- 5 ごみ出しは、介護保険制度の訪問介護（ホームヘルプサービス）に含まれていない。

問題 84 安眠のための介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 清潔で乾燥した寝具を整える。
- 2 高い枕を勧める。
- 3 就寝時は空腹になるよう、早めに夕食をとるよう勧める。
- 4 寝る前に熱めのお風呂に入るよう勧める。
- 5 夜間の居室の音は、60デシベルに保つ。

問題 85 利用者の状態・状況に応じた睡眠の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 関節リウマチのある人には、膝の下に枕やクッションを入れる。
- 2 認知機能の低下があり、深夜に徘徊している場合は、納得するまで1人で歩いてもらう。
- 3 こむら返りを起こす場合、寝る前にはなるべく運動を控えるよう勧める。
- 4 心臓機能障害のある人が睡眠時呼吸困難を訴えた場合は、安楽な起座位にする。
- 5 睡眠薬を服薬している人が服薬後も眠れないと訴えた場合は、追加して服用する。

問題 86 終末期の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の家族に毎日面会に来るよう促す。
- 2 介護保険施設では、死後のケアは職員のみで行わなければならない。
- 3 利用者の意思を尊重し、活動の優先順位を検討する。
- 4 ホスピスケアとは、死後に身体を清め、化粧や旅立ちの衣装への更衣を行うことである。
- 5 意識がない場合には声かけを控え、静かで安心できる環境づくりを心がける。

問題 87 介護福祉職が行うグリーフケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者が亡くなってから開始する。
- 2 介護福祉職も、悲しみと向き合う時間や安心して悲しみを語れる場が必要である。
- 3 遺族が悲しみを感じないように、明るく振る舞うようにする。
- 4 死別後の悲しみは時間とともに消失するので、声かけなどはせず、そっと見守る。
- 5 遺族に対する介護福祉職の役割は、今後の生活の助言者として対応することである。

問題 88 日常生活用具給付等事業に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護保険法における「福祉用具貸与」と障害者総合支援法における「日常生活用具給付等事業」の両方の支給要件を満たす場合は、原則として障害者総合支援法による給付が優先される。
- 2 「障害者総合支援法」における都道府県が行う地域生活支援事業の必須事業の1つである。
- 3 日常生活用具の要件の1つに、「用具の製作、改良又は開発に当たって障害に関する専門的な知識や技術を要しないもので、日常生活品として一般に普及しているもの」がある。
- 4 市町村に申請し、市町村による給付の決定後、給付を受ける。
- 5 日常生活用具のうち、排泄管理支援用具には特殊尿器が含まれる。

問題 89 「ロボット技術の介護利用における重点分野」が2024（令和6）年6月に改訂され、「介護テクノロジー利用の重点分野」に名称が変更された。このことに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 厚生労働省とデジタル庁が共同で定めた。
- 2 「認知症生活支援・認知症ケア支援」等の3分野が追加された。
- 3 改定後の運用は、2024年6月から開始されている。
- 4 「ロボット技術の介護利用における重点分野」の中の「見守り・コミュニケーション」の普及率（「令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査」より）は、50%であった。
- 5 「ロボット技術の介護利用における重点分野」の中の「排泄支援」の普及率（「令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査」より）は、10%であった。

問題90 車いすでの移動支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい

- 1 でこぼこした道や砂利道などはキャスター（前輪）を上げ、駆動輪（後輪）で前進する。
- 2 急な下り坂は、前向きで進む。
- 3 段差を上がる時には斜めに段差に近づき、ティッピングレバーを踏みハンドルを押し下げ、キャスター（前輪）を上げる。
- 4 利用者が手動で操作をする時は、アームサポートを握って操作をする。
- 5 介助型車椅子は、介助者が操作するため、自走型車椅子よりも駆動輪（後輪）が大きくなっている。

問題91 左片麻痺がある利用者の杖歩行支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 平地では、介護職員または介護福祉職は、利用者の右側のやや後ろに位置して支援を行う。
- 2 階段を上る時は、杖→右足→左足の順で上る。
- 3 杖は利用者の右手に握ってもらい、長さは利用者が杖を握り、肘の角度が90度になるようにする。
- 4 階段を上る時と下りる時は、介護従事者は利用者の左側の一段上に位置する。
- 5 平地で二動作歩行を行う場合は、杖と同時に右足を出すようにして歩く。

問題92 ベッドからの立ち上がり（端座位から立位）の支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ベッドの高さは、利用者のつま先がつく高さに調整する。
- 2 立位になる際は、利用者にベッドへ深く座りなおしてもらおう。
- 3 利用者の両足はそろえ、介護従事者は利用者の前方に位置して安全を確保する。
- 4 利用者はベッドの手すりなどを持ち、おじぎをするようにして立つ。
- 5 立位時は、安全性の確認のため、手すりから手を離れた状態で姿勢の確認を行う。

問題 93 整容の支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 整髪について、関節リウマチなど頭部に手が届きづらい人には、柄の短いブラシを使用する。
- 2 爪切りの際に、爪周囲の皮膚に化膿がみられる場合も、介護職が爪切りを行ってよい。
- 3 手の爪は、巻き爪にならないように爪の角度を斜めに切る「バイアス切り」をするとよい。
- 4 介護従事者は、T字カミソリを使用してひげそりの支援を行うことが認められている。
- 5 乾燥性皮膚疾患がある場合は、弱酸性の石鹸で洗う。

問題 94 右片麻痺の利用者に対する更衣の支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 衣服を脱ぐ場合は、右側から先に脱ぐように支援する。
- 2 介護従事者は、利用者の左側に位置して介護を行う。
- 3 右肘を袖に通す時は、前腕を下から支える。
- 4 衣類を準備する時は、利用者の好みを確認せず、介護従事者が着せやすい服を準備する。
- 5 ズボンを脱ぐ際には、左足を右大腿部の上に乗せ、ズボンを脱ぐように支援する。

問題 95 摂食・嚥下の過程に関する次の記述のうち、「咽頭期」の説明にあてはまるものを1つ選びなさい。

- 1 食べ物を口中に取りこみ、咀嚼して食塊を形成する。
- 2 蠕動運動により、食塊を胃に送る。
- 3 食べ物の形や色、においなどを認識する。
- 4 嚥下反射により、食塊を食道へ送る。
- 5 食塊を主に舌を使って、咽頭へ送る。

問題 96 左麻痺の利用者への食事の支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護従事者は、利用者の左側の斜め前に座り、食事の支援を行う。
- 2 食事の前後10分は、入浴を避ける。
- 3 誤嚥防止のために、最初にご飯などの主食から食べてもらう。
- 4 ベッド上で食事をする際にむせることが多い場合は、利用者を右側臥位にして食事介助をするとよい。
- 5 食後は、口腔ケアを行う。

問題 97 次の食べ物のうち、誤嚥しにくい食べ物として適切なものを1つ選びなさい。

- 1 もち
- 2 茶碗蒸し
- 3 味噌汁
- 4 かまぼこ
- 5 もなか

問題 98 生活行為や生活空間に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人の生活行為が行われる空間をパブリックスペースという。
- 2 家事労働が行われる空間を家事空間という。
- 3 家族または来客とともに行う生活行為が展開される空間を生理的空間という。
- 4 私的空間では、入浴や排泄が行われる。
- 5 生活行為の似た者同士を近くにまとめることを動線という。

問題 99 高齢者の事故に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 事故発生場所は、道路が一番多い。
- 2 屋内での事故発生場所は、食堂や台所が多い。
- 3 住宅内事故による死亡者は減少している。
- 4 事故の件数は、転倒事故が一番多い。
- 5 高齢者による事故は、9割が住宅内で発生している。

問題 100 入浴の身体への作用を踏まえた介護福祉職の対応として、適切でないものを1つ選びなさい。

- 1 静水圧作用があるため、食後すぐの入浴は避ける。
- 2 浮力作用があるため、関節や筋肉の緊張がゆるみリラックスできる。
- 3 浮力作用は考えられるが、腰やひざへの負担が軽くなることはない。
- 4 温熱作用があるため、入浴前にトイレに誘導する。
- 5 温熱作用があるため、高温での長時間の入浴は避ける。

問題 101 清拭の介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 目のまわりは目頭から目じりに向かって拭く。
- 2 背部を拭くときは、患側を下向きに、側臥位になっていただいて拭く。
- 3 清拭に使用するお湯の温度は、80℃程度である。
- 4 清拭は、中枢から末梢へ向けて拭いていく。
- 5 一度拭いた面を再利用して拭く。

問題 102 入浴介助に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ヒートショック予防として、浴室と脱衣所の温度差を大きくする。
- 2 乾燥性皮膚疾患のある人は、力を入れて強く洗う。
- 3 片麻痺がある場合は、患側から浴槽に入る。
- 4 洗身は、利用者ができるところは見守り、できない部分を介助する。
- 5 浴槽からの立ち上がりは、勢いよく行う。

問題 103 排泄介助の留意点に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 プライバシーや自尊心に配慮する。
- 2 カーテンは閉めないようにする。
- 3 肌を多く露出させて介助する。
- 4 たくさん話しかける。
- 5 ズボンや下着を、足首まで下げる。

問題 104 機能性尿失禁のある高齢者への対応に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレを和式に変更する。
- 2 留置カテーテルを使用する。
- 3 水分摂取を制限する。
- 4 尿路の疾患によるものと判断する。
- 5 トイレの場所が分かるように表示する。

問題 105 排便のメカニズムに基づく排泄の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレまでの歩行は、胃・結腸反射を誘発するために有効である。
- 2 食後の臥床は、腸内の蠕動運動の亢進に有効である。
- 3 便座に座って足底を床につけた前傾姿勢は、腹圧を高めるために有効である。
- 4 腹部マッサージは横行結腸、上行結腸、下行結腸の順で行うことが有効である。
- 5 トイレ誘導は、便意を催してから1時間後が有効である。

介護過程

問題 106 介護過程における情報収集に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護職員または介護福祉職が実践したい支援内容に沿った情報を収集する。
- 2 介護者の五感を活用した観察を通して情報を集める。
- 3 生活歴を中心に、情報収集をする。
- 4 ひとつの生活場面に限定して情報を収集する。
- 5 初対面の時から踏み込んだ情報収集をする。

問題 107 アセスメントに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の情報収集をすること。
- 2 計画の具体的な内容を決定すること。
- 3 支援の経過を評価すること。
- 4 介護計画を評価すること。
- 5 支援の内容を点検すること。

問題108 介護過程における生活課題に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職が実践困難な課題のこと。
- 2 効率的な支援を提供するために解決すべきこと。
- 3 利用者の生活を改善するために思いついたこと。
- 4 利用者が望む生活を実現するために解決すべきこと。
- 5 家族が望む利用者の生活（のあり様）のために解決すべきこと。

問題109 介護過程における目標の設定に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 長期目標の期間は、2か月程度に設定する。
- 2 長期目標は、短期目標ごとに設定する。
- 3 短期目標は、生活全般の課題が解決した状態として設定する。
- 4 短期目標は、抽象的な内容で表現する。
- 5 短期目標は、長期目標の達成につながるように設定する。

問題110 介護過程を展開する目的として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職の業務効率を優先するため。
- 2 ケアプランを作成するため。
- 3 科学的根拠のある介護を行うため。
- 4 利用者に対するケアを画一化するため。
- 5 医師との連携を図るため。

問題111 モニタリングに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 情報を解釈し、考えること。
- 2 人間を観察すること。
- 3 ケアに関する会議をすること。
- 4 サービス計画を立てること。
- 5 計画通りに支援が実施されているか確認すること。

次の事例を読み問題112、問題113に答えなさい。

〔事例〕

グループホームに入所しているAさん（75歳・女性）は認知症と診断されている。認知症の症状が進行し、最近排泄の失敗が増えたことにより、意欲の低下が見られる。部屋へ行くと悪臭があり、排泄に失敗して汚れた衣類をタンスに隠すようなことが続いている。定年退職まで、教師として働いていた。2年前に夫を亡くし、認知症の症状が進行したため、1年前からグループホームに入居している。

問題112 排泄に関する短期目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 失禁を減らすことができる。
- 2 トイレで排泄することができる。
- 3 汚れた衣類を隠さないようにする。
- 4 意欲が出るようにはたらきかける。
- 5 部屋を定期的に換気し、悪臭を取り除くことができる。

問題113 意欲低下があるAさんに対する介護職員の声かけについて、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 衣類を隠さないでください。
- 2 トイレで排泄しましょう。
- 3 この部屋、なんだか嫌なおいがしますね。
- 4 何か心配事がありますか？
- 5 失敗したら教えてください。

総合問題

次の事例を読んで、問題114から問題116までを答えなさい。

【事例】

Hさん（59歳、男性）は、くも膜下出血の後遺症で高次脳機能障害があるため、障害者支援施設に入所している。身体の麻痺はなく退所後は自宅での生活を望んでおり、現在は、自立した日常生活を営むために必要な訓練をしている。

問題114 Hさんが利用しているサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 重度訪問介護
- 2 就労継続支援B型
- 3 居宅介護
- 4 短期入所
- 5 自立訓練

問題 115 施設入所中に妻が亡くなり、退所後は自宅で一人暮らしをすることになった。これまで H さんは自宅で一切家事をしてこなかったのに、施設で行われている料理教室に積極的に参加するようになった。しかし、料理工程が複雑になると何からやればよいのか分からなくなって、計画的に作業を進めることができない。料理をしているときの H さんの状態として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 遂行機能障害
- 2 半側空間無視
- 3 構音障害
- 4 知的障害
- 5 社会的行動障害

問題 116 H さんは料理教室の時に上着を汚したので、居室で着替えようとしていた。H さんは上着を手にしたまま、どうすればよいのか分からなくなった。このときの H さんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 着替えていないことを注意する。
- 2 着替えるまで待つ。
- 3 着替えができない理由を聞く。
- 4 着替える動作のきっかけをつくる。
- 5 着替えの手順を細かく指示する。

次の事例を読んで、問題117から問題119までを答えなさい。

【事例】

Cさん(22歳、男性)は3歳のときに、呼んでも振り向かないことや指さしをしないことなどから、自閉症スペクトラムと診断された。特別支援学校を卒業し、現在はグループホームで生活している。

問題117 Cさんがグループホームの生活を始めるために利用したと考えられるサービスは次のうちのどれか、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自立生活援助
- 2 共同生活援助
- 3 行動援護
- 4 施設入所支援
- 5 地域移行支援

問題118 Cさんは気分にもラが多く、正社員として毎日の仕事に従事することが難しい状態である。しかし、就業意欲はあり、何とか少しでも働きたいという気持ちが強い。このニーズに対して最も適切だと考えられるサービスはどれか、次の中から1つ選びなさい。

- 1 就労移行支援
- 2 就労継続支援
- 3 就労定着支援
- 4 就労選択支援
- 5 自立訓練

問題119 Cさんとのコミュニケーションに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 絵や文字を使うと混乱しやすいため、言葉だけで伝える。
- 2 情報は細かく、一度に多くの情報を伝える。
- 3 時刻、時間は具体的に伝える。
- 4 話してはいけないところでは、「静かに」と伝える。
- 5 注意をするときには傷つけないために遠回しに伝える。

次の事例を読んで、問題120から問題122までを答えなさい。

〔事例〕

Aさん（65歳）は、夫（68歳）と自宅で二人暮らしをしている。若い頃は、二人で農業をして生計を立てていた。最近、Aさんは前頭側頭型認知症を発症した。Aさんの要介護認定を行ったところ、認知症の症状は見られるが、ADLの状態は自立しているため、要支援2と認定された。

先日、夫は、農作業をしていた時に転倒し骨折したため、自宅でAさんの介護をすることが困難となった。このことから、介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談し、施設に入所することになった。

Aさんは施設に入所後、他の利用者や介護職員と関わろうとせず、居室に閉じこもりがちになっている。レクリエーション活動にも消極的であり、他の利用者や職員に暴言を吐くこともある。

問題120 Aさんの認知症のタイプについて、その症状として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 記憶障害
- 2 もの盗られ妄想
- 3 人格の変化
- 4 幻視
- 5 失行

問題121 Aさんが入所する施設として、次の中から最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 特別養護老人ホーム
- 2 軽費老人ホーム
- 3 養護老人ホーム
- 4 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 5 介護医療院

問題122 施設入所後のAさんへの介護職員の関わりについて、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事の時間など、他の利用者と一緒に過ごした方がよいと思い、介護職員の判断で、日中は部屋から出て活動していただくことにした。
- 2 他の利用者への暴言がみられた時に、そのような行動を止めるようAさんを制止する。
- 3 Aさんのことはそっとしておいた方がよいと思い、部屋にいる時は外の音が聞こえないように居室のドアを閉め、声をかけないでおく。
- 4 レクリエーションの内容を説明し、参加するかどうかはAさんの意思を尊重する。
- 5 レクリエーションの時間は部屋から出て、積極的にレクリエーションに参加してもらうように説得する。

次の事例を読んで、問題123から問題125までを答えなさい。

〔事例〕

Bさん（70歳）は、糖尿病性網膜症により5年前に失明し、全盲となった。障害支援区分は「4」と認定されている。要介護認定は受けていない。今まで一緒に暮らしていた妻（68歳）がBさんの介護を行っていたが、先月病気で他界し、現在は遠方に住んでいる息子夫婦が週に2回程度自宅へ訪問し、介護を行っている。

Bさんは、若い頃から旅行が趣味で、失明してからも妻と一緒に、年に2回程度旅行に行っていた。妻が他界してからは、息子夫婦が来た時のみ一緒に近所の公園まで、白杖を使用して外出している。

問題123 Bさんとのコミュニケーションにおいて気をつけることのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 点字を用いてコミュニケーションを図る。
- 2 手話を用いてコミュニケーションを図る。
- 3 読話を用いてコミュニケーションを図る。
- 4 実際に手で触れたり、言葉を話したりしてコミュニケーションを図る。
- 5 「あれ」「それ」という指示代名詞を用いてコミュニケーションを図る。

問題124 Bさんが「気分転換に、バスを乗り継いだところにある映画館へ行きたい」と訴えた。Bさんの外出を支援するために利用できるサービスについて、適切なものを1つ選びなさい

- 1 同行援護
- 2 行動援護
- 3 生活介護
- 4 自立生活援助
- 5 通所リハビリテーション

問題125 Bさんと外出する際の移動支援について、その方法として適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ガイドヘルプをする際には、Bさんの半歩後ろに位置するとよい。
- 2 支援者はBさんに対して、周囲の状況を口頭で伝えながら支援する。
- 3 Bさんと外出する際に、歩行時の移動支援に自信がなかったため、車椅子で移動支援を行った。
- 4 タクシーを利用する際には、Bさんが先に乗り降りする。
- 5 Bさんが階段を上る時に、白杖を持っていると上りにくそうにしていたため、何も言わずに支援者が白杖を預かった。